



地域支えあいニュース

第13号 平成29年9月

綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム
(事務局:綾瀬市社協 地域福祉班) 電話:0467-77-8166 ファックス 0467-79-1812
E-mail info@ayase-shakyo.or.jp

生活支援体制整備事業第2回勉強会開催

前回(第12号)にて第1回の勉強会の様子をお伝えしました。

今回の第2回勉強会では、第1回に参加した方で、引き続き学びを深めていきたいという方が参加して行われました。

第2回勉強会

平成29年9月17日(日) 綾瀬市オーエンス文化会館小ホール

参加者8地区25名

第1回目の勉強会を経て、第2回目の勉強会への参加を希望された方々を対象に、第1部ではモデル3地区の座長をお招きしてミニシンポジウムを、第2部ではカードを使った助け合いゲームとワークショップを行いました。



参加者アンケートより(ミニシンポジウム)

- 実践している地域のお話が具体的で良かった。井戸端会議の様子がよくわかった。
- 人と人とのコミュニケーションがよくなると思いました。
- 3名の方の実際に動き出した話はたいへん素晴らしかった。まずは地域のことに関心を持つことでしょうか。

○各地域の特徴や苦勞が聞けてよかった。

○モデル地区の話しが聞けたこと。(メンバーの構成や人数等) 肩の力を抜いてやってもいいのかなあと思った。

参加者アンケートより(助け合いゲーム&ワークショップ)

○「なるほどね」と思いました。こういう方法でわかりやすく理解を深められれば身につきます。



- 難しく考えず、声を上げることが大切と感じた。ほんの少しの思いやりですね。
- 身近なところでたすけあいができる方法を考えることが大切と思った、自分もやれることがある。
- 自分の生活について感じる場所がありました。
- 時間を使っても、もう少しやってほしかった。リラックスして楽しかった。
- お金のかかる問題も工夫することで解決できることを学びました。



実践をされている方の話しは説得力がありました。助け合いゲームとワークショップでは「こんなに簡単なことなんだ」「問題点も見方を変えれば解決できるんだ」ということを体感していただきました。井戸端会議発足に向けて、みなさんの肩から力が抜けていくのを感じて少しホッとしました。次回は10月22日に第3回勉強会を開催します。